

日、滿鮮移民の調整統制案
七日關東軍特務で

滿洲國港灣稅關を
羅南に開設す

華天七日發國通）真日本
洲諸を結ぶ教圖線の開通
伸び領洲國政府に於ては、
敦圖綫開通に伴ひ
商自由の原則に依り
で承認さ内定、近々異
旨回答を答する筈であ

三省協
五、一

關稅休日案に
我國も賛同
（東京七日發國通）ワシントン
は本月中旬を期し、陸
省關係のものを全部取
公

に於る英佛、米三國會商で
もれたる經濟會議開催日た
六月十二日を満期とする
定額稅休日案に英、佛共、應
じたので米國では出淵大使
五・一五事件の真相を
方針の下に準備を進
るが、公表の時期内容
定の爲来る十四日頃三
者の協議會を開くこと

を通じて日本政府に、右受諾を提議して來た、外務當局大藏省と協議してゐるが、

つて土地の強制奪取を爲め一層加速度的に浸めたものである

(二)

蒙族に於ける封建制
 蒙族は、古來悉く元朝の
 裔なりと稱せられてゐる蒙
 王公の土地に在つて牧畜を
 営み、盟には盟長を置
 れ、制度並に生産分配
 に見ることが出来る。蒙
 於ける最大行政區劃
 あり、盟には盟長を置

薩克王稱して族に於け
及司法權を有してゐる
即ち各族王公に兼任せ
るが、この行政組織

[illegible]

の事務は事房と経房の
於てこれを主管する

**蒙古の没落と
湯玉麟の迫害**

(一)

熱河省に於ける人口は三百五十萬乃至六百六十萬を稱せられてゐる(註)が、それ程に確たる統計なく其數を窺知する程度であるが、其の蒙古人は約八千餘萬を概稱されてゐる(註)。

△註一 熱河省人口に関する調査

民國九年民政廳統計課調查
三、四九五、四七二人
昭和五年農商部調查課調査
四、五〇〇、〇〇〇人
民國十七年中國郵政總局調査
四、四五〇、〇〇〇人
民國十九年内務部調査

△註二 獨車特務機關の推算に據る

蒙古民族は古來悉く元朝の後裔なるものとして、
旗王公の地位に在つて牧畜を手體とする完全な封建制度に據る生産生活で來たが、現在では土地の面影はなく、土地の大部分を失ひ、僅かに餘産を持つてゐる状態である。この没落の原因は第一に經濟的に約五百至十年前に開始された漢民族的の移民によつて生じた商業的發展によつて生産と消費との不均衡なのであるが、第二は政治的

(二)

蒙族に於ける封建制度は、
れを制度並に生産分配の領土に見ることが出來、蒙古に於ける最大の行政區劃は盟であり、盟には副盟を置き、副盟克星に關しては主權に於ける行府に對する權利及び司法權を有してゐない。旗即ち各旗王公に封ぜられてゐるが、旗王公に封ぜられしに於ては殆ど空文化し、
がその行政實権はすべて旗に於ける旗王となつてゐる。主權を執るは漢民族の移住による蒙族の没落は即ち札薩克が舊來の事務を管理する臣の科利科的事務は吏房と膳房の二科利科に於てこれを主管する。

し、戸口調査し、土地事務を總括し若くは役員の任分並に村長を掌握し、或は財政を監督し、又は刑罰を行行使する主權機關の全權を行使する主權機關である。

B 辨 房

孔陳克の一家に於て一切の事務を總括し、王府の器具材料器具材料を保管し、金銀の出納、物質の調査に年じ、或は祭典儀仗、應答等々掌つてゐる。

現在蒙古王公の會議に於ける權限は漢人に對しては何等の權を有してゐないが、管内の民人に對しては殊に司法刑罰等に缺如してはるが、舊藩政を以て臨時の行政を保持して居り、一對蒙古民權を

せらるゝ而て族に於ける民衆は狩獵時を清く農耕に程度の遊牧でつゝ農業の如きは蒙古人の法律に稱せざる捕獲に至つては、收入の全部は王公の所得であつて一般民衆も又それと不當に財産を失はば元來、不當に主張するが、一般民衆もそれを知るの必要なく、主觀をの生計維持についで、は極力農民、唯の財産である土地の分譲を乞ふ行であつた。

要するに族に於ける社會組織は十七世紀の封建的社會組織である。原始的産業事業である畜主と農奴との關係である。

會で
件を協議
十五日頃か
意同である

爲替管理
爲替銀行外銀
筋の打撃甚大
（東京七日特約通）爲替管理
實施の結果、爲替銀行、外銀
乃ブローカーの打撃甚大で、

正式に通商
條約を求む
（東京七日特約通）去る五月
三日着出せる南米エルグワ
イ共和国の駐日代表エルグワ
ルフェニエルデアルガ氏は、八
日午後五時外務省に外相を訪問
し、新任の挨拶と並に上から
正式に對日通商條約締結方を
提議した。尙今同エルグワ
氏は、提議の條約は、最惠國條
款に規定せんとせしめるもの
であり外務省當局も近く右提
議を應諾せんことを意圖を有
し、實現する

發で自給自足の國家獨立の拓務省主催の特別委員會は今週中に第二回の委員會を開くが、拓務省では日印條約破壞に伴ふ對策を急ぎ、當分のためのきき綿花新協會設立の方針を決定した。

一、協會は獨逸法人と雖も内地業者との關係は本家を網羅する外、獨逸に於て當業との參加を得。

一、政府は急の保護と指導獎勵をなす。

一、協會は總の監督權は拓務省に存するものとす。

一、資本總額は次回委員會で決す。

員を開き決定するが現行措置と認められてゐる。

丁士源氏 大連出帆

〔大連七日發着〕初代駐日公使丁士源氏は日印出帆のハルビンで赴任の途に就いた宋文華府卿〔ワシントン（ワシントン）支那代表宋文華氏は大日華府へ到着、七日より次次統領と會談開始す〕宮。

ウルフグワイ駐日代理公使

[illegible][illegible][illegible]

大正十一年、海外に生じた。此花の
 葉は多く、仲夏の間に、此花は
 開花し、それから甲の下の葉は
 等、花のつるが花で飾
 られるのであつた。

蘭月が昔の庭にかつて、そと
 へ吹く風も強く、伊勢からと
 なく花の飾りの極つて来るまで
 あつた。

此花は、海外に生じた。此花の
 葉は多く、仲夏の間に、此花は
 開花し、それから甲の下の葉は
 等、花のつるが花で飾
 られるのであつた。

る。後の葉が、花を飾りけに開
 してしまふ。一の葉が右に折
 れて、花の根元にしかつた。白
 海は、ふと廊下の庭の中に、かす
 かに花を散らした。

花は、ふと立ちまつて、花を散
 らした。少し間を置いて、うん
 さんといふ音が聞かれる。

花は、花の根元にしかつた。白
 海は、ふと廊下の庭の中に、かす
 かに花を散らした。

るのかと思つたのであるが、驚か
 られるのであつた。

[illegible]

魚

本店
博多屋新京支店
東京祇園下町七、四
大造

新京朝日館
印刷
三友社
電話二四三八番

產婆安看護婦入用
委照會ノコト夏風腹患書送

齊々哈爾病院
齊々哈爾街路
定跡一握手筋
專、感切指導
教授 小島金三
新柳ハ番三五九、富士町三

齒科一般
口腔外科
小島醫院

日本 齒科醫士 小島 勉
大學 醫學博士 小島 郎

東四條通八番地

五、井泉及有收自食品之罐如須主而客應亦稍投棄廢之罐蓋或底蓋等或其附屬之蓋注意者其掃除如有損壞之處則特修
六、房屋庫房等集計掃除後務期將門窗開放流泄空氣射日光光
七、廊宇內潮濕之處務必撒布土砂灰灰水灰等物鋪墊以資乾燥又其他穢物等類於無火險之處以綠葉或另納舍中盛積不使散放以便運
九、凡如欲購置工廠倉庫市場客棧料理店宿舍下宿屋及苦力收容所等常多人出入之處務宜掃拭清潔必須格外加意掃除淨潔
十、餘前各號外特由警察官吏所指示事項亦須嚴重動付公要

期日與日相同

所 毛可當方某會社出張

姓 名 在 社

投資者^らのむ

木資本にて居ながら
出來多大に儲る營業
法方は面會の上希望
來を談

新出賣額一千圓位
新京大和通一番地
昭和館内
東京順天堂藥房

貸出勉強 保管確實
流費極小
各種洋服上り 其他色々

五月二十二日
五月二十二日
西小南西一條崎 和泉町各警察官更派
出所買入一圓

譯 文

新京警察署告示第六號
爲佈告事照得本署轄内所住者各別列標者於檢查之前日
以該施行清潔法に依り警察官吏の檢査但於指定之日内一時
雖施行者將其情其情具報該署警察署該其可各界人々
證知悉照勿違此佈
昭和八年四月二十一日

新京警察署長 高山 勝司

清潔方法施行標準
計 開

一、凡在房屋及倉庫内之所有各種傢具物件及可能移動之
什物一概搬出外に碍支之障礙該房屋倉庫之内外掃除
清潔并行隨同
二、凡在倉庫内所有多數之物件雖未必搬出外に須將門窓閉
以、空室射入日光照其倉庫内、掃除潔淨
三、天棚土下等處即能進入身體之處悉行掃除潔淨

料理 モスコ
西洋 カフェ
實用係由
電話三三三三番

わづき町
清水盤骨院
電話(車夫)七五五四番
警察人舟四二丁
日七番地ノ四

店舖讓々シ
市内目抜ノ場所デ
(造作付キ一切)
讓リマス
電話三三三六番

求事務所向貸
家又ハ貸室

五月十八日
五月十九日
五月二十日

五、井戸山大藥中、一の館ニテ、
厨所並テ、穴倉略下室、腰升酒ノ
部分、數人ヲ、附近ハ特ニ、事ニ探検シ其ノ破損シ
六、家財物ニテ、綢緞シタル襦袢數及針光ノ圖帳ハ
七、木灰等ヲ數キ、ノ火燒ノ損
八、磨イテ、汚カハ火災ノ證據ニテ、出ニ於テ燒却ス
九、燒却場、其地行、旅館、料亭店、飲食店、寄附金
下宿屋、理髮店、魚菜市場等、如キ等
十、出所ノ人並ニ、應アハ位ニテ、關係上ノ不潔ニ陷リ
十一、即各該ノ警察官吏ニ於テ指示シタル事項ハ嚴
重ニ執行スルベシ

清潔法ヲ檢査日割

檢査 區域
石碑嶺軌道附近地、鐵道北各警察官吏
派出所内、一
東七條附近、五條通、富士町各警察官吏
派出所内、一
朝日通、一、條町、各警察官吏派出所内

[illegible]

レディーメイド
洋服一切新荷着
背廣詰襟服
學生服 レンコート
雨合羽
新 京 日 本 備 留
平 本 洋 行
電 話 二 五 八 番

野遊會場設備請負

運動會……縣人会……柔撲會など野遊びの(レイン)さ
なました、例野の通り野へ、會場の設備、會場の
裝飾など萬端一切請負致します

跡片付なことも一而責任をもちます
『リーズナブルな事も不要請負用くださる』

新東京常盤町一丁目(神社南側)

新京土建

現業員組合

組合長 高岡宇佐之助

和登洋行

日本橋通 電氣の店

器具明照。事工燈付

トルーモ。オヂラ

トルベ。機話電

電話二〇四

日本橋通電氣の店

祝町五丁目（モスゴト東入）
中村製綿所前
取次（電話二二六一番）
日本橋通電氣の店

(一) 花柳病 此病は肝臓を侵すの危險あり
(二) 花柳病 皮膚病 神經痛等ヲナス、眼病
耳鼻咽喉、白帶下、頭痛、便秘等 一週間を服用すれば必
らず効果あり
(三) ラミー 本劑は性病の預防治療にして前種の性
病治癒の保證を許す
(四) 五月二日より産婆武田姉 を聘し開業致し
まして親の様に御取引し下さる可率より安く
新嘉坡町三丁目七
番屋校前

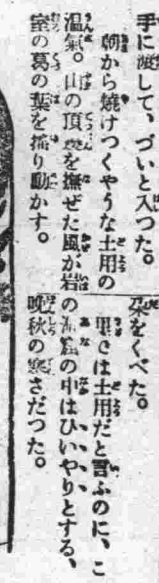
胃腸病特效藥並
下熱止 止 肺
炎の特效あり

吉光堂療院
電話三七六

和洋家具製作販売

家屋修繕諸工事請負

口になつてゐた。入口を入るとの首領は思はず固睡を吞んだ。



アトリエ 新祝町三丁目 電話三一五一番


 日九月五
 日五十月四
 破赤乙火
 口日亥曜

正



宮内省御用達 味の素本舗 鈴木商店



趣味と家庭

んなに愉快かを味はしえた。
この頃になつたら頭の中に無類
なものを買はないやうに、買
物をお母さんになに相談するやう
に仕掛けてごらん。

〔第三〕かうして自分のお金
をさう處理してゆけば、かさを
評論の上で會得するのを喜び、嫌が
り、必要なものを喜び、嫌が
るを喜ばない感じが、つて來たら
一週いくらかお小遣さきめて
渡してゆけば、お處理する事を導
いてゆくやうに、しなす思ひま
す。お金を使ひ度いたための

密にはかうすればきつて戀
は思ひます。この事について
私は實際上手に目をもつてゐ
るつもりです。

お金を欲しがらず供に絶對
に與へない、渡さない、と
態度は決してこの種の癖を治
す所以ではあります。

やう云ふ場合にもある學者が云
ふやうに「まつ幸福に
せよ、それから正しく導け」
と云ふ原理を考へなくてはな
りません。

お金を持出し

たり買食ひしたり
行末が案じられてなりません

〔問〕足入郷人の四番目の男の子でございます。四月から尋常五年になりました。年は十二です。二月月は前に學校の友達が活動寫眞につれて行つてそれからは見たことになつたのです。何かおどつてゐたおもしろいのです。それからあなたのお金を持ち出すやうになつて、兄の机の抽斗から、父の洋服からと、類りにお金を取つて物を賣ひ人にやつた。買ひまゐつてきたものなり致しました。活動寫眞へはお金をつたひののです。その度におどりました。今のはまだ古のお金だけだからよい様なものが、さうも効果が薄いのです。今のうちにはまだ古のお金だけだからよい様なものは、さうも様物の物をさるやうになつたさう夜中配て居ります。さうしたことを矯正することが出来るかと思はれませうか。なほ健育のために申渡しますが、身體はこれさうつ病氣もなく、さうして立派な體格と申せません。學校の成績は中位でございます。

診
斷

金の誘惑と
友への優越感

これが昂じると盗癖を作る
いつも一種の劣等感があるため、何かして人に知られたいよ。そこへお金をつかつて人に何か買つてやる
さ他の子供が
阿諛 したり、ついて来たりする
に自分の強い慾の満足があるわけで、その金を使ふるの誘惑も、劣等感を免れようとする心が、錯になつて盜癖を作るのは、其發生の一つの型さつて、よく相宜に私の知る不良少年にも、相當な家庭に育つてゐる他にない。云はれぬために盗みをして、それが深くなつたものさある位です。

次は金の使ひ方

お金を絶対に與へないのは
何よりも危険です

「(弟) 私はこの種の盜辭に耐しては、お金を探さまいさすより、これを奪ひて導く方法を考へるべきと思ひます。まづ最初には、日に五錢なり十錢なりを匿して、それを自由に處理せよ。子供達が盜む苦勞はあるのですから、彼等にもへれば、その方

がよいのです從つてとて、盗むにははむと思ます」

「(弟) 併したてゝこれだけで、は發覺助長するでございから、次には、これがあつたら貯金するすための貯へも二個も残つたもの、貯へも方へ味をひいてゆく時には、餘つてもそれは儲にして貯金

酒場の母

獨逸母性愛映畫
長春座上映

名子役と言へば米國のケッパキーン・トランを聯想する現在の映画界に於て獨逸のホムス・ユール少年の聲息の如き出陣は特筆に値する所である。此はケッパ・ユールの所演優れぬ巧妙、繊密な性質實現の技巧が少なく、一日の長をトランに譲らねばならぬが自然で無技巧のものも描かれ、深刻さがあり滲み出る雄大な巧さがある。

此の名子役ユールを中心に寫映現在の名格琴家、コッパが共演しマダガスニヤ嶺が助演する母性愛映はマダガスニヤの船艀に素晴らしによつて、ありきたりの催涙映と異つた感動をあたへて觀衆の心をよく

此の映画の原名「ゾフキオオ」の鳴らす時は原作作者明でテーマは平凡である。それから處待をすれば愛兒を育て、淹れるが我兒故に頭身に染めて、零落する娼家女を救ふる時彼女が病氣を癒る之れがブルーラインである。監督並びに音楽指揮のフエール・フエール撮影のワッセルマン、シヤは申し台せた南正、本にスタートして、四條目頃から異色ある手法を見え、巧みにモンスター・ユールをかくしてラストに迫らせずう手腕を見せる。

力學

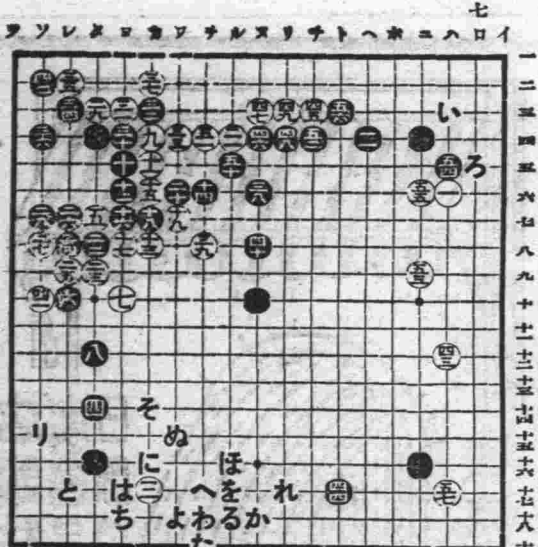
高邁なる見識から
來る大力

(五) 黒頭巾にて
處でゐるのである。
だが何故いふ方は無難な
聲所を、腰際であらうといふ
方は御聰明な智恵とも言へ
る。おかげ目な時勢を察し
てそれに當應する所謂妙術家
はひではなから腰裏に取ひ懸
つたのである。

捕獲の憂き目に
陥り得ぬのはなかつたかも知れ
ぬ。それにより、おのづかみ
が變つて上らうとする手廻し
とでもせらるべくは地にならな
くすれば、肩手抜きてして黒
白(一)と白(二)(三尖付け白)
(三)と立たた時に黒(四)と高

飛ん逃げなくてはならぬ。
と言つてましか白(一)になぞ
と氣に打つてゐると
生(二)と下り白(一)と
と生(三)と驚くと
白子は捕獲の憂き目に遭つて
るのだ。

打ち得
ては黒(四)と改めて来た時
に白(一)と大膽走ると黒(二)



圍碁新手合
(二局の五)

三 段 石 塚 直 行 誠
五 子 高 橋 次
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

海の外から

シカゴ、モントローキー、鐵道車
 會社では、一哩の長列車をひくに
 能力ある機關車を新造して、ま
 時速十五哩乃至二十哩で、十
 千噸の重量を有つ貨車を引き
 廻す云ふ。

○兩年筆代りのペン先き
 糞田米のに珍らしいペン先
 きが生まれた、即ちゴム仕込之
 の二重ペン先きで、一度4、
 キに浸せば、一日中使用し得
 所家等乃更使用する各廠

活關一六
二三〇〇
冰關
五二

チヌ	小鯛	ゴリ	サワラ	サバ	カレイ	コノシロ	マナカツ	アブラ	サッポロ	飯前	車エビ	アラブ	チドリ	小市
二八	五四	一七五	二六〇	一九〇	一一九	一九三	二六六	二六〇	二六〇	四一	五一	九七	七八	二〇
子鰯	ハネ	ヒラス	ススキ	アジ	ヒラメ	入テ	グ	ウツ	タコ	甲イ	伊鰹	白魚	カマス	京カレ
二三	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一	一	一	一	一	一	一	一

新荷着御案内

物 干 竹 筴

内 地

兩 柄

長 柄

サ

チ

ガ

ブラ

シ

食料品 大和通り

其他季節向き商品(在庫豊富)

世帶道具

セトモノ

三浦洋行

電話 三五六七番

靴の御用は

金城

千代田靴靴會社
實用靴製品

垂柳並靴靴會社
高級靴製品

特約店
電話二九五番




金城靴店

通年 商 品 是

和洋酒食料は
是非吉野町
丸徳へ
電話二三三番

一般商事案内
廣告一手取扱
諸圖書出版
地圖書寫眞トレイ
ス
圖案ボスター作製
商窓裝飾取扱
鑛物鑑定及分析
一般測量應需

新
光
社

假事務所新京吉野町三丁目
醉鮮旅館内
電話二七七六番

新
京
五
月
號

◎滿洲雜誌界の最大權威

世界經濟會議と滿洲(卷頭言)
 聯盟脫退後の國際政局
 滿洲の再認識
 何故歐洲は滿洲を誤謬したか
 自主外交と東洋平和確立

五月號(第二卷第五號)自次

關外務大臣
 關東軍參謀長
 芳澤 謙吉
 小磯 國昭
 O W プライス
 富田 廣四

滿鐵增資と經濟統制策……………貴族院議員日野
新滿鐵改革論の擡頭……………轉 徹 手
政府の滿鐵監督方針……………貴族院議員伯爵
東支鐵道問題と蘇聯の使命……………秋山 圭 岳
極東と米國の政策……………會 田 傳
ヒロビヂヤンの重大性……………フ ス バ ン
滿洲國の經濟政策檢討……………外 野 研 究 所 論
口 操 孤 界……………

菊池 武夫

建設計途上の滿洲國

本社編輯部編

弗箱・熱河
 山海關摩分邦人の興味ある座談會
 鐵路總局の陣容を觀る
 その獲得と省議部の人物月旦
 實業教育擴充の急務
 異人種を利用せよ
 金州出身の三羽鳥
 滿洲景氣報告書
 本社編輯局編輯

滿洲の漢藥……………藥學博士 山下泰藏

滿洲生活の斷面……………林 敏夫

婦人團體の解剖……………西園 水里

全聯の指導方針……………大連聯合婦人團の活動……

思ひ出の大婦人會……………

竹中俊子夫人を訪ねて……………本計婦人記者

統後の女性之力……………

女丈夫岩佐女史六十年の思ひ出……………天

女人生活苦闘錄……………本社記者

三十代の有閑夫人とある女給の告白……………本社婦人記者

隨感・隨想
 櫻吹く萬里の長城
 ユボリツ王
 預えるルンペン作
 松花江に編輯
 熱河省派遣施療班の活躍
 日露得祕史佐 丸救助の追憶
 噫 荒水大尉
 創作ヨロヨロは跳ねる
 朱筆 捌いて
 ○列車、汽船 航行時間表と賃金、滿洲各地旅館案内
 日本帝國陸軍第一所
 蒙古のメヅカ
 嶺 林
 編輯人駐試驗問題
 段祺瑞の遺書
 蒙古のメヅカ
 嶺 林
 萩原恒義
 今村常次
 小林了水作阿
 林 甫
 (自次頁)
 (定價一部五十錢)
 新京日本橋頭八番地

發行所 新 京 社
奉・天 支 社
華天浪速三十八番地
電話三二九四番
電話三五六〇

齒科

一般治療、電氣治療科、齒列矯正科、口腔外科、小兒科、加補綴治療科
拙者ハ平素、日滿人眞ノ融和ハ先ツ口齒ヨリ始マルト感シマシテ今般態々東京ヨリ遙々此新東京ニ移住シテ來マシテ
(下宿屋ノ三階)デ(目下本院建築中ニ付)
齒ノ治療ヲ始メマシタカラ陸續御來院ヲ期待シマス

新東京市出町二丁目二番地日通三三三番地
新東京醫院假療養所
院長 日本齒科博士 松田徳一

アサヒビール

大日本ビール會社特製品

香 味 色 澤
とてもステキです
これこそ新人の要求せる新ビールです

大瓶四打入一箱金十五圓也
御電話次第御届け致します
日本橋通り

寶洋行

電話三七三三番

和洋家具、敷物
窓掛、文房具

洋品雜貨、建築材料

新東京日本橋通

品川洋行新東京支店

電話三〇六六番
支店 奉天
本店 大連

金融預金

親切確實ナ地場銀行へ
三笠町三丁目八番地

新東京銀行

電話二九三三番
電話二九三四番

カフェー 東洋軒

新●の花 酒と女は満點

東一條通
電話二四二六番

自轉車にオートバイの御用命は

各種自轉車 特約店
オートバイ 池畑自轉車店

東一條通 電話二四二三番



日本トランス

蓄音器

廉賣店

建築のスピード化

國都建設局の方針を体し
優美最新建築法を以て堅固最短期日に完成
工事の大小を不問御一報次第即時技術員を伺はせませす

昭和土木合資會社新東京出張所

事務所入船町四丁目拾九番地
電話二九三三番

店頭裝飾ト
廣告ヲ兼テ
日除ハ是非当店へ

申込所
楠田鐵工場
新東京入船町四丁目ノ三

竣工・水道・衛生工事・洋灰加工
其他附帶工事・建材製造販賣

吉備洋行

電話二二八三番・工場二七六〇番

御料理 館代千八

町野吉春長
電話二九三三番
電話二九三四番

辯護士 沼田 勇

吉野町二丁目二番地
電話三七二八番
電話三三三三番

荷馬車運送業 南方公司

今般左記で荷馬車運送業を始めた何卒御用命願ひます
一、荷馬車は一百台同時にでも給出來る機手配致して居ります
二、建築材料其他一搬貨物運送の御相談に應じます

東京市吉野町二丁目一七番地(新東京)
電話二二八三番(吉野町)
電話二二八三番(新東京)
新東京日本橋通 電話二二八三番

ノーチツプタイム開設

開店早々に拘らず毎日満員の盛況を蒙り厚く御禮申上ます
就きましては皆様の御食の御便宜を計る爲め左記の時間をノーチツプタイムとし御奉仕致して居ます精々御利用の程願ひます

午前十一時よりノーチツプタイム
午後二時よりノーチツプタイム
一葉ランチ(紅茶附)金五十錢

レストラン 一葉

電話三九四二番
吉野町三丁目(長春座前)

辯護士 大原萬千、百法律事務所

老松町十六番地
(元新東京市日通三番地)
電話三九三七番
電話三九三六番
電話三九三六番

「建築界ノ第一線ニ進出セル店」

安心シテ信頼シ得ル店
丁寧ニ速ク親切ニ施工致シマス

特ニ建築ノ無料相談ニ應ジマス

御申込ノ節ハ御一報頭ヘハ早速參上致シマス
建築土木ノ調査 ● 設計ノ測量
施工ノ監督 ● 土地ノ測量
新東京市日通三番地
電話三〇六六番

日南和成公司

機 械 工 具
煖 房 材 料
水 道 用 器
衛 生 陶 器
油 脂 塗 料

東華洋行

新東京日本橋通六〇
電話三三五七番

御料理 梅月

新東京三笠町三丁目
電話二七八四番

成吉思汗

創刊明治三十九年、滿洲に於ける漢字新聞として最古の歴史を有し、多年扶植培養せる信望と勢力とは確固不動、滿洲及び北方支那の言論界に於て、断然之の王座を占む、實に滿洲の文化的開發と指導の最高權威也

青椒の鯛すき

食 道 樂
アオヤギ
祝町新橋北浜
電話三〇九〇番

新東京一のニギハ

ツネに新東京一の力
チを有す

新荷着 徳丸

吉野町
電話二二三三番

植木鉢と水
投入筒と乱
番茶器と眞セツト
珈琲茶碗と冷水セツト
一輪挿しとベリセツト